

令和5年度 市長のタウンミーティング実施報告書（上中島地区）

会場名	上中島公民館	日時	11月29日(水) 19時00分 ～20時45分
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画部長、総務部長、産業建設部長、民生部長、教育委員会事務局長、情報広報課長、地域協働課長、情報広報課 広報広聴係長(司会)		
参加者数	30名	YOUTUBE 動画	視聴者数(最高時点) 11人 チャット(投稿数) 0件



1.市長講話

市長 村椿 晃「自治基本条例・各地域におけるコミュニティセンターについて」
(20分程度 資料に基づき講話)

2.事前質問(地区から事前にいただいた提言・提案等について)

①防災無線の運用について

上中島地区には、防災行政無線のスピーカーが2か所(旧上中島小ともくもくホール)に設置されていますが、強風や雨などの気象条件によっては内容がまったく聞き取れないという声をよく聞きます。緊急情報や避難情報を適切に届けられるよう防災行政無線の運用の見直しを検討していただきたい。また高齢者の増加によりメールやSNSに対応しきれない皆さんも多い。防災ラジオの希望者への全配布などアナログ世代の高齢者に対する防災対策も検討していただきたい。

(村椿市長)

防災行政無線がよく聞こえないという話はどこの地域でもありますが、名案がないというのが正直なところ。はっきり伝えるという、その1点だけで言うと、ケーブルテレビをしっかりと活用できればいいと思っています。ただ、体制がないと生放送みたいなリアルタイムで伝えられるかどうかということは非常に難しいところもあります。緊急の防災ラジオにしても、市内全世帯に配置するということになると、膨大な費用がかかります。例えば何億かけて全世帯に配布する必要があるのかという議論もあります。必要な人に必要な情報を届けるという、個別対応を考えなければならない。それを我々もどこまでやれるかを考えている現状です。やはり防災行政無線に代

わる、その情報を受ける手段を構築していくということが必要になろうかと思っています。

②住民を増やす努力をしてください。土地の値段を黒部・滑川より安くするべき。

(村椿市長)

結論から言うと、市役所で土地の値段をコントロールすることはできません。固定資産税は市の中心部から離れると安くなっていくという仕組みをとっていますが、魚津市の中心部駅近くはやはり高いです。魚津市は、昔から都市的な機能、要するに役場だったり、国の機関だったり、お店だったり、そういうようなものがまとまって狭い地域にあります。このようなまちが歴史的に形成され、それが今、人口が減少していく中で、かつてより割高だと感じるようになったというのが、今の姿です。

③子供から老人まで過ごせる施設を作ってほしい(健康のための公園。山の中じゃなくて(桃山)みんなが行きやすい場所)。公園にペットは入ってくると子供たちの衛生面が気になる。(ミラージュランド芝生やみらパーク)

(村椿市長)

現在、公園のパークマネジメントということで、地域の皆さんと意見交換をしながら、従来画一的であった公園を地域のニーズに合わせた公園に作り変えるといった取り組みをしています。街中ではなくて、もう少し広々としたところで、例えば多世代が交流できるような、そういった場がいいのではないかとというご質問だと思いますが、たとえば桃山運動公園の空いたところを少しでもいろんな形で、家族や高齢者の方も含めて楽しめるような環境にしていくことも考えています。最近よくあるのは、公園の中で、菜園みたいなものを共同でやったりとか、あるいはそれに合わせてコミュニティビジネスとしてオープンカフェを開いたりなど、民間ではなく地域の皆さんが一緒にやるといったことは、全国的にはあります。公園はやはり、地域の人たちが気軽に集まったりしながら、楽しめる場所。いろいろな世代の人がやはり楽しめる場所にすべきだというふうに思うので、このご指摘の視点に沿って、我々しっかり考えていきたいというふうに思っています。ペットの話は、これも聞きます。ドッグランなどをきちんと整備した方がいいんじゃないかという話もあるので適地について検討をしていますので、我々もそういった意識を持って考えていきたいというふうに思っています。

3.意見交換(地区からの提言・提案等について)

○産婦人科を作ってほしい。

(村椿市長)

まず産婦人科を作るという時に、労災病院さんと協力をしてやろうということで準備をしました。その当時、産婦人科医は3名確保しました。さらに産婦人科以外に小児科医が必要だというリクエストが出てきましたので、小児科医の先生ともお話をし、小児科医の先生も協力いただけるということになりましたが、その後断念せざるを得なくなりました。理由は大きく二つあります。一つは、まず産婦人科病棟を労災に整備となると、最初の見込みは4億で、最終的には12億円までかかることになりました。当時、統合小学校建設を一生懸命進めていました。それから半年後、雪になって、通常年の4倍ぐらいの除雪費用、通常1億円ぐらいのところを4億円かかるということになり財政が窮乏しました。当初4億円だけでも大変だったのに、12億円を用意することはできなくなりました。

もう一つは、働き方改革です。来年から本格施行されますが、たとえば、トラックドライバーさんの

の話もあります。お医者さんの世界でも同じことが起きました。産婦人科医は、以前は 24 時間、例えば、寝ないで対応して、診察がない時に少し休むということがあったのですが、お医者さんの世界も、年間の残業時間が制限されました。約 900 時間。つまり、人員が、極端なことを言うと 3 倍必要になるという話になりました。産婦人科を 3 人確保して小児科を 1 人確保するだけでも、大変な目にあって確保したのですが、その 3 倍となると難しいです。これが実際の話です。これは、国策として国レベルでしっかり考えていただきたいという状況になっています。

○ 警察再編の動きを教えてください。

(村椿市長)

警察署の再編については、皆さんご承知の通り、魚津、黒部、入善で候補地を出しています。魚津市からは、総合体育館跡地を候補としています。それについて、地域協議会というようなものを開いて、それぞれ意見を聞こうという状況になっています。魚津の候補地は立地的にメリット優位性があると思います。ただ、それぞれ言い分がある中で、警察としても、簡単に決めるのが難しいという状況です。

○ 旧上中島小学校の解体後の跡地利用について。

(村椿市長)

具体案はない状況ですが、ある意味面的なフィールドができないかと考えています。皆さんがつながるようなクラブハウスのようなものがあればという話なので、それは一緒に考えていきましょうということになっています。この景観にマッチしたような、活用方法を考えたいです。

○ 市役所の職員で中途採用はあり得るのか。積極的にやったらどうか。自分の世代は就職氷河期で、魚津に住みたかったけどなかなか戻ってくれなかった仲間が結構多い。市役所の構成比率みると、35 から 45 ぐらいまで少ない。

(村椿市長)

中途採用は現在もやっており、特に土木・建築技師の募集をやっていますが、採用にいたっていないです。ふるさとに戻って働きたいという方は大事だと考えています。ふるさとから県外へ行った若い方たちもやはりふるさとのことは、気になっていると聞きます。自分たちが、ふるさとの取り組みにかかわれる機会があるということを書いてもらえれば、時々戻ってくる、あるいは半分ぐらい戻ってくるような形で地域の活性化に寄与したいという気持ちはありますと、伺いました。皆さんの力を必要としていることを届けたいと考えています。

○ 企業誘致について目標値などはあるのか。

(村椿市長)

市長に就任してから、新規での誘致は 5～6 社、再稼働は 2～3 社、増設は 10 社程度あり、雇用については多いところで、200 人増えたと聞いています。(各社について説明)